

国民民主 こくみんみんしゅ Press

KOKUMIN MINSHU PRESS 号外 2020年6月5日

国民民主党 国民民主プレス 編集部 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話:03-3595-9988 (代表) メール:press@dpfp.or.jp URL:https://www.dpfp.or.jp

国民民主党富山県総支部連合会
〒930-0057
富山市上本町8-6 福一ビル西町2F
TEL076-461-7751 FAX076-461-7738

「休業や失業で収入が減った方の生活を支援」 新型コロナ休業者・失業者支援法案を提出

国民民主党をはじめとする野党共同会派と共産党は6月5日、「新型コロナウイルス感染症等の影響に対応するための休業者、離職者等の生活の支援に関する特別措置法案」(新型コロナウイルス休業者・失業者支援法案)を衆院に提出した。法案は、新型コロナ対策により休業、離職等を余儀なくされたことで収入が減少した人の生活を支援するため、労働者生活支援給付金の支給、失業手当の支給額の引き上げ、期間の延長など、特別な措置を講じるもの。

提出者の岡本充功厚生労働部門長は、提出後の会見で法案の内容を説明した上で、来週にも政府が提出する雇用保険法等改正案について、「政府案と方向性が同じだ。た

だ、政府案では対象からはずれてしまう人がいると想定される。より多くの方に支援が届く提案をした。政府案とともに審議し、できるだけ野党案が反映されるように協議していきたい」と語った。



政府案と野党案の対比表 ▶



馬淵澄夫議員が入党



国民民主党は6月3日に開催した第97回総務会で、平野博文幹事長より馬淵澄夫衆院議員の入党について報告を受け、承認した。これに先立って行われた定例会見で玉木代表は、2日に入党届を提出した馬淵澄夫衆院議員について、「心から歓迎したい。野党の選挙対策を引っ張っていただきたい」と激励した。



馬淵澄夫議員
詳細ページ

衆議院予算委員会審議のご案内

6月8日から令和2年度第2次補正予算案の国会審議が始まります。衆議院では9日から予算委員会が開かれ、国民民主党からは9日に渡辺周、後藤祐一、岡本充功各議員が、10日には玉木雄一郎代表が質疑に立つ予定です。衆議院インターネット審議中継の他、NHK総合テレビやラジオ第一放送などで、ぜひご視聴ください。

衆議院インターネット審議中継 ▲



渡辺周議員



後藤祐一議員



岡本充功議員



玉木雄一郎代表

国などによる 新型コロナ 関連の 支援制度



※詳しくはこちらをごらんください

どんな支援があるの?



新型コロナ関連 学生向け 支援制度



※詳しくはこちらをごらんください



家にいましょう

コロナ対策メッセージ
画像をご活用ください

ここからダウンロード ▶



最重要は子どもの学びの保障 「ダブルチャンス入試」の導入も



国民民主党文部科学部門の9月入学検討ワーキングチーム(WT)の中間報告が6月3日、総務会で了承された。同中間報告は、9月入学の一律的な導入は見送る一方、新型コロナのため受験勉強の機会が奪われた高校3年生らのために(1)来年度に限り、大学入試を後ろ倒しで2回行う「ダブルチャンス入試」

<p>子どもの学びを保障するための 国民民主党9月入学検討ワーキングチーム</p> <p>一律での 9月入学見送り</p>	<p>子どもの学びを保障するための 国民民主党9月入学検討ワーキングチーム</p> <p>子どもの 学びの保障</p>
<p>子どもの学びを保障するための 国民民主党9月入学検討ワーキングチーム</p> <p>ダブルチャンス 入試</p>	<p>子どもの学びを保障するための 国民民主党9月入学検討ワーキングチーム</p> <p>セカンドチャンス 体験</p>

の導入(2)今年、実施できなかった学校行事、スポーツ・文化イベント(大会など)の実施を政府が支援する「セカンドチャンス体験」——等を提言している。9月入学の議論は今後も中長期的に継続していく、とした。ただ9月入学の導入は就職活動などにも影響するため、これを実現するためにはかなり広範囲な制度の見直しが必要だとして、党内に部門横断的な議論の場の設置を求めた。城井崇WT座長は会見で、「公正な大学入試の機会を確保すべき」と語った。



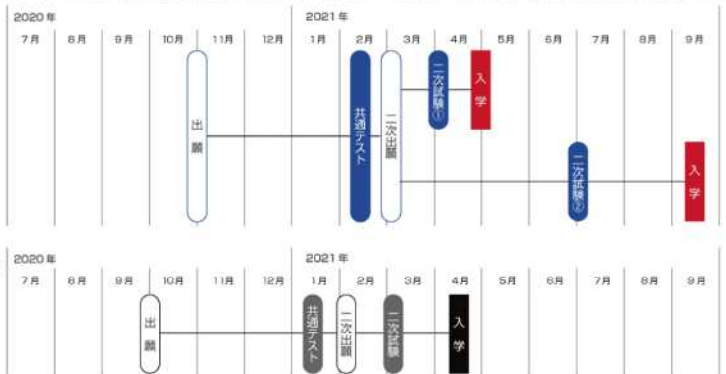
◀「9月入学・9月新学期」
案に関する中間報告

玉木代表・城井WT
座長による解説動画 ▶



大学入試後ろ倒しと春夏2回実施(ダブルチャンス入試)

○共通テストを2月に後ろ倒し、二次試験は春入試(3月)と夏入試(6~7月)の2回を行う。
○4月入学に加え来年度限定の9月入学対応、最短3年半での大学卒業を可能とする対応を大学に要請する。



ネットライブ番組、定例化第1回を配信 視聴者投票で番組名は「うさみみアワー」に



▲撮影は出演者間に十分なソーシャルディスタンスを確保して行われた

国民民主党はこれまで不定期に実施してきたネットライブ番組について、定期的な配信を望む声に応え、毎週水曜日19時に定例化することを決定。大西健介国民運動局長の司会で6月3日、平野博文幹事長、田名部匡代副代表を迎え、定例化第1回の配信が行われた。

話題となっている政治テーマを扱う番組前半では、平野幹事長に政府の第2次補正予算などについて話を聞いた。平野幹事長は、国民民主党は一貫して政府にスピード感を持った対応を求めるとともに、特に家計をしっかり支える具体的な経済対策を提案してきたと党の姿勢を語った上で、政府による対応が遅いことに懸念を示した。課題山積にもかかわらず国会を閉会しようとしている政府の姿などを問

ニコ生党公式
チャンネル



YouTubeライブ



twitterライブ



題視し、「国会を開いて国民の立場で審議し続けなければならない」と語った。

所属議員の横顔を紹介する番組後半で田名部副代表は、来週から大西局長と交互に司会を務めることになると抱負を語るとともに、地元青森県の祭りや名産品などお国自慢を紹介した。

また、番組定例化ということで事前に番組タイトル案を募集。寄せられた83個の番組タイトル案の中から番組視聴者の投票が行われ、番組名は「国民民主党うさみみアワー」に決定した。



国民民主党うさみみアワー第2回
「2次補正で十分か? 新型コロナウイルス対策についてあらためて考える」

2次補正で十分か?
新型コロナウイルス対策についてあらためて考える

田名部 匡代 (幹事長) | 玉木 雄一郎 (代表) | 小郷 慎司 (副代表)

ニコニコ放送 6月10日(水) 19時~20時10分